



### ■取付けられる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**▲注意** …取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

### ■取付け上のお願

- サッシ枠・連窓目板は、3.5寸柱を基準に設定してあります。連窓部分の柱が93未満の場合、取付けられません。
- 連窓目板の規格サイズは3種類です。その他のサイズは下記の連窓目板切断寸法公式に従い切詰めてください。
- サッシ枠は、水平・垂直を出して躯体に取付けてください。上部カバー及び下部カバーが取付けられない場合がありますので、特に連窓する2つのサッシ枠の上枠及び下枠の高さを合せて取付けてください。

### ▲注意

●雨漏れの原因になりますので、下記事項を遵守して組立ててください。

#### ・【上部カバーと下部カバー】

取付けの際、防水テープがつぶれるように上枠又は下枠に押付けながら釘止めしてください。すき間があると漏水の原因になります。

#### ・【上・下部カバーと上・下枠及び連窓目板ジョイント部】

本説明書の指示個所にシーリング材(別途)を必ず塗布してください。

### ■部品セット一覧表

●下記の部品セットが同梱されていることをご確認ください。

イ	ロ	ハ	ニ
上部カバー(防水テープ付) 1個	下部カバー(防水テープ付) 1個	スクルー釘φ2.1×32 4本	皿木ねじφ3.8×38 5~8本

※規格以外の場合は、下記の公式で目板の寸法を算出してください。

$$\text{目板切断寸法} = H(\text{サッシ基本寸法}) + 98$$

※サッシ基本寸法はカタログをご覧ください。

### ■取付け順序

#### 1 かい物の取付け

①サッシ枠を下図A寸法内になるように、連窓部から固定します。サッシ枠は3.5寸柱(102×102)を基準に設計してあります。

このときA寸法は48mmになります。

※目板幅が63mmのため、A寸法を約43~54mmにしてください。それ以外の寸法の場合、目板は取付けられません。

②連窓目板取付け部にかい物を釘止めします。(釘は市販品を使用してください。)

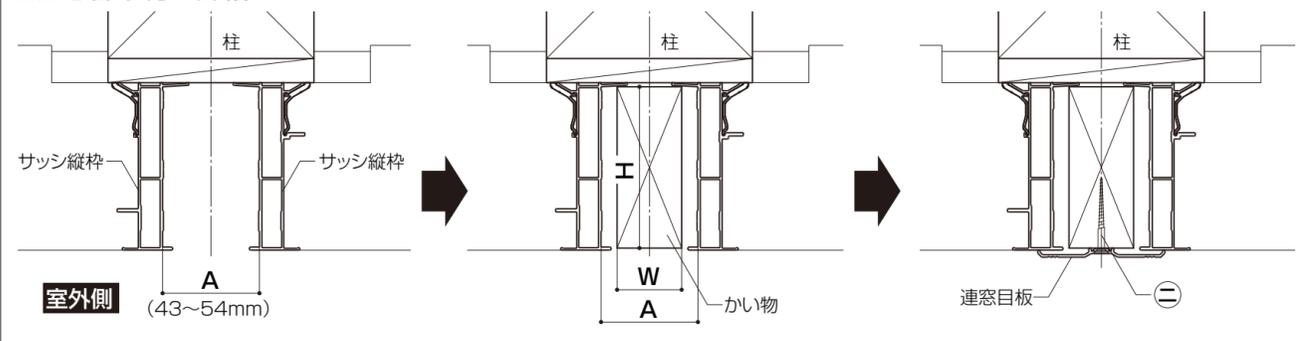
※かい物は通し(1本)で入れてください。

※かい物の長さは、縦枠より約20mm短くしてください。

※サッシ枠は、3.5寸柱を基準に設計してあります。

●A寸法が48mmのかい物寸法 H×W=80×32

#### ■連窓部取付け詳細



#### 2 上・下部カバー、連窓目板の取付け

●上部カバーを躯体に釘止めします。

①上部カバーの裏面に防水テープが張ってあります。裏紙をはがして上枠に張付けてください。

②下図の矢印(↓)のように、上部カバーを防水テープがしっかりとつぶれるように釘止めしてください。(A部詳細図参照)

●下部カバーを躯体に釘止めします。

①下部カバーの裏面に防水テープが張ってあります。裏紙をはがして上枠に張付けてください。

②下図の矢印(↑)のように、下部カバーを防水テープがしっかりとつぶれるように釘止めしてください。(B部詳細図参照)

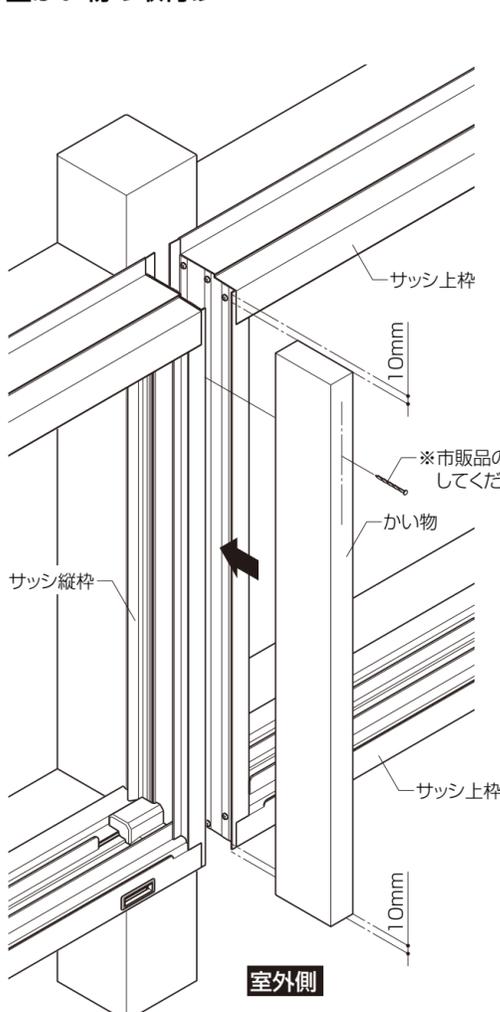
●連窓目板を上部カバーと下部カバーの間にけんどんし、ねじ止めして取付けます。

### ▲注意

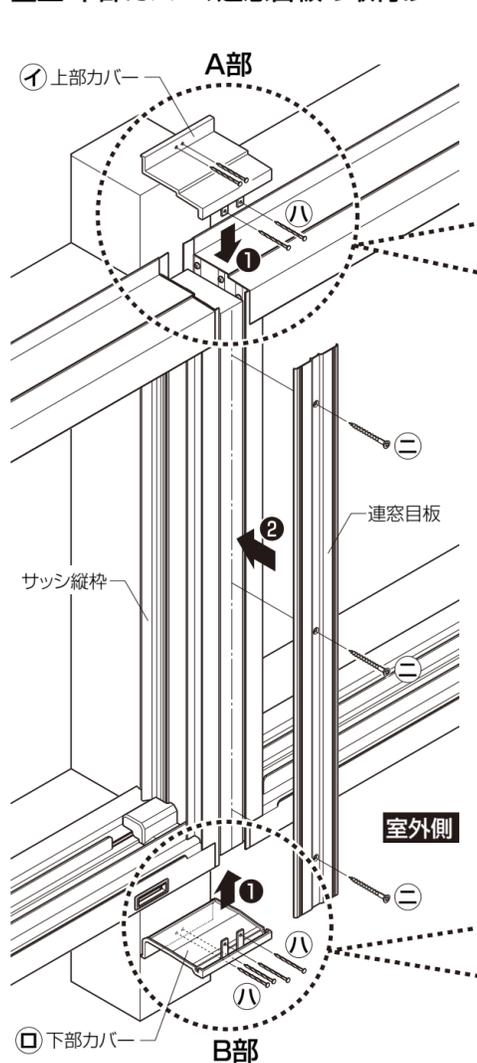
●取付けの際、防水テープがつぶれるように上部カバーは上枠に、下部カバーは下枠に押付けながら釘止めしてください。すき間があると漏水の原因になります。

●上部・下部カバー・目板上下部にシーリングをしてください。

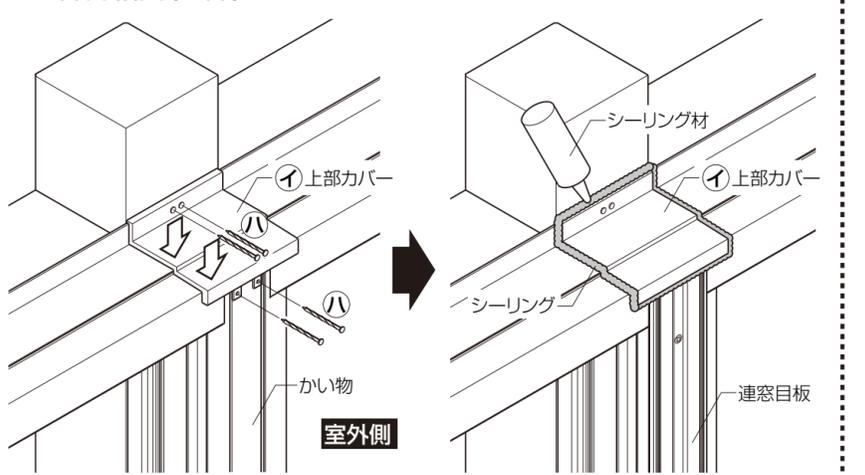
#### 1 かい物の取付け



#### 2 上・下部カバー、連窓目板の取付け



#### ■A部詳細図(上部)



#### ■B部詳細図(下部)

